

## 令和5年度第1回益田市自転車活用推進委員会 議事録

### 【開催日時・場所】

令和5年9月4日（月） 14：00～15：10

益田市役所 大会議室

### 【議事次第】

1. 開会挨拶
2. 議題
  - (1) 委員長・副委員長の選任について
  - (2) 益田市自転車活用推進計画の進捗管理について
3. その他

### 【配布資料】

- 資料1 益田市自転車活用推進計画施策調査票
- 資料2 益田市自転車活用推進事業補助金関係資料

【出席者名簿】

推進委員						
No.	所 属		職 名	氏 名	出欠	備考
1	公立大学法人島根県立大学		准 教 授	松 田 善 臣	○	
2	島根県自転車競技連盟		理 事	永 井 伸 次	欠席	
3	サイクルライフナビゲーター			絹 代	○	オンライン
4	益田市教育委員会		委 員	原 田 笑	欠席	
5	島根県在宅保健師等の会「ぼたんの会」		益田地区幹事	長 野 知 恵 子	○	
6	益田市身体障害者福祉協会		会 長	野 村 長 典	○	
7	有限会社森谷		代表取締役	森 谷 典 子	○	オンライン
8	益田市連合自治会長会		会 長	澤 江 佑 三	○	
9	益田サイクリングサークル			村 川 修	○	
10	一般社団法人益田市観光協会		事 務 局 長	仲 田 千 恵 理	○	
11	益田警察署 交通課		課 長	内 田 貴 司	○	
12	国土交通省中国地方整備局浜田河川国道事務所		副 所 長	安 部 正 和	○	
13	島根県益田県土整備事務所 維持管理部管理第一課		課 長	安 田 修 二	○	
事務局						
No.	所 属		職 名	氏 名	出欠	備考
1	産業経済部		部 長	梅 津 明 則	○	
2	〃	観光交流課	課 長	板 井 泰 紀	○	
3	〃	〃	課 長 補 佐	城 市 唱 子	○	
4	〃	〃	主 任 主 事	桑 原 愛 実	○	

## 【議事録】

### 議題（１）委員長・副委員長の選任について

#### ○委員長の選任

委員長は、規約第3条の2の規定により、委員の互選により選出するとされており、委員より立候補又は推薦がなかったため、事務局案として松田委員をご提案したところ、満場一致で松田委員が委員長に就任。

#### ○副委員長の選任

副委員長は、規約第3条の3の規定により委員長より委員の中から指名することとされており、松田委員長より森谷委員にご指名があり、満場一致で森谷委員が副委員長に就任。

### 議題（２）益田市自転車活用推進計画の進捗管理について

#### ①益田市自転車活用推進計画の進捗管理について（資料1参照）

（事務局説明記録省略）

委員長	ただいまご説明がありました進捗管理についてご質問、ご意見等ございましたらお願いします。
委員	自転車による健康教室の開催について、今年度の目標として健康教室の開催を1回となっているが、具体的に対象や開催場所が決まっているのか。
事務局	これまで開催が難しく実績がなかったが、今年度まずは1回開催しようとして動き出し開催について検討している。担当課に対象等確認し報告したい。
委員	安全教室の開催について、子どもを中心とした施策だと思う。ヘルメットの着用努力義務化が5月から始まり、警察の取組等も含めて自転車活用を進める市としては積極的に進めていきたい。ヘルメットを着用する人が5月から増えているように見えないが、どのように声掛け等しているのか。公民館単位でのヘルメット着用を促す取組を前年度提案しているので、地域別での取り組みも検討していただきたい。
事務局	交通対策協議会でのチラシの配布を行っている。地域へは、公民館長会議でのヘルメット着用も含めた自転車安全教室の開催に対する補助金のご案内など警察と協力して開催できる旨説明している。警察での取り組みはどうか。
委員	警察では、交通安全教室や広報啓発イベントなどでチラシの配布、声掛けなども行っている。一般の方への着用はハードルが高いため、高校生の着用を促すため、東高校の女子サッカー部（3名）にヘルメット推進隊を任命して、高校生からの発信を行っている。
委員	市民への自転車活用推進について、市外へのPR等は取り組まれている

	<p>るように思うが、まずは市民を対象とした取り組みがあり、外部の受け入れができる態勢が形成されという手順の方がふさわしいと思うが、自転車のまちを作っていく根幹はどちらになるのか。</p>
事務局	<p>市民の方がまずしっかり安心安全に乗って、自転車を楽しんでいただくということができない限り、市外の方を受け入れる雰囲気づくりや環境づくりが整ったとはいえないと思っている。一方で、やはり外から益田に来ていただいて、楽しんでいただくことも必要であると考えておりますので、そこは両輪進めていきたい。健康教室や交通安全教室は、どちらかという市民の方々に向けた取り組みであり進めていきたいと考えている。</p>
委員	<p>健康教室も回数が少ないように感じる。大人に対しての具体的な施策が見えてこない。市民への広がりを見ると年2～3回開催が必要ではないか。</p>
事務局	<p>回数だけを見ると少ないように感じるかもしれないが、まずはやりたいと思ってくれる地域が積極的に出てきてくれる形にしていく必要があると思っているので、市HPや広報で発信していきたいと思う。</p>
委員長	<p>回数が少ない理由は、手を挙げてくれる団体等がないからという理解で間違いはないか。</p>
事務局	<p>健康教室では、健康づくり団体の方との連携が必要になると思うが、担当課とも実施を検討する中で、健康教室をする前に自転車に乗ること自体に不安がある方が多いと聞いている。交通安全教室は、地域や学校から手を挙げていただき市で支援を行うこととしているので回数を増やしていけるよう広報等取り組んでいきたい。</p>
委員	<p>市民の自転車活用では、通勤通学利用、買い物等生活での移動、計画には健康利用というのが入っており、普及啓発の取組として教室の開催等が上がっているが、楽しい取り組みとしてアプリ等を活用し、走った距離に応じてポイントをもらえて買い物でお得になる等取り組んでどうか。</p>
事務局	<p>ご意見を参考にさせていただきながら取り入れられるものがあれば取り入れていきたい。</p>
委員	<p>既存の取組（例えば健康教室）にどう自転車をつなげていけるか、情報発信についてもSNSをうまく活用し色々なことができると思う。また地元の団体等のネットワークも活用しながら進めていけるのではないかと思う。市民と行政のつながるシステムを構築できればと思う。</p>
事務局	<p>地元の団体や組織とつながり推進していくことも大切だと思う。SNS等もうまく活用し、輪が広がる活動をしていきたい。</p>

委員	手荷物搬送サービスについて、空港の到着ロビーに、ポスターやのぼり等で PR が必要なのではないか。観光協会で周知できるが、駅前まで来てしまっている方へ周知しても意味がない。可能であれば、機内での案内ができればいいと思う。
委員	レンタサイクルについて、現在のサイクリストの数字のとり方は、観光協会でのレンタサイクルの数字で、8割はシティタイプ(電動自転車等)の観光やビジネスの移動等での利用であり、スポーツタイプのレンタサイクルはあまりないため、サイクリストの目標の数字として不足があるように思う。今後サイクリストの来訪者数をとる場合は、別のやり方(サイクリスト用のクーポン配布を行わずに観光協会へ来てもらいカウントする)を検討し稼げるやり方も考えていきたい。
事務局	実際益田市に自転車で走りに来た方の数のとり方が難しい現状がある。今後委員の皆様にもご意見いただき検討していきたい。
委員	<p>健康分野や手荷物運搬など全国的に見ても進んだ取り組みを試行されていてすごいなと思う。今警察庁が赤切符から青切符に移行しようとしているところで、どのように皆さんにルールを伝えていこうかと議論が始まっている段階。その中では、自転車だけの話ではなく、ドライバーや歩行者も一緒に考えていかないと自転車の問題は解決しないというのが共通認識になっている。施策の中に、ドライバーに対する啓発等(自転車と一緒に道路を使うんだという認識)を持ってもらえるような項目がないことが少し気になった。</p> <p>サイクルモードに出展されたりすると思うが、益田での楽しみ方など周知方法をもう少し検討された方がいい。HP などでも発信しているが県のサイクルステーションに関するページは 2017 年から更新が止まっていたり、市 HP はリンクが切れていたり、ほとんど情報が得られない状態。スポーツタイプ自転車の需要は増え始めており、ライト層が自転車で軽いサイクリングをするニーズが高まっているのに、益田に来るには情報が足りない。</p> <p>サイクリングマップはすごくきれいだが、土地勘がない人間にはあれで走るのはちょっと厳しいかなというふうを感じる。クロスバイクを借りてちょっと周遊する層の方に来てもらうのが一番だと思うので、アクセス等基本的な情報をかみ砕いて市のサイトで発信してほしい。多方面への情報発信より、まずは地盤をしっかりと固めた方が効果が出るのではと感じる。</p> <p>自転車の交通安全に関して、幼児に対しては幼児同乗者限定になっているが、他の土地では、保護者に対して同乗に限らず、子どもが自転</p>

	<p>車に乗り始めたときに安全に乗ってもらうためルールを伝えている。学校や警察の指導だけではなかなか浸透していかないの、子ども同乗者に限定するのではなく、保護者が集まる機会にリーフレットを配布する等取り組みを検討してほしい。</p> <p>初心者から参加できる自転車教室の開催で、「交通安全子供自転車島根県大会」が入っているが、内容はほぼ競技（手信号の美しさ等）で、地域生活にあまり役に立たない内容。国でも役立つ内容に変更しなければという動きがあるもの。その内容を理解したうえで施策の根拠事業としているのか不安に思う。</p> <p>合宿誘致では検討がどのくらいの形なのか、調査票だけではわからない部分が多く本当に誘致していくのか、海外の選手を誘致する見通しがあるのか伺いたい。</p>
事務局	<p>ドライバーに対してまだまだ効果的な取組ができていないと思うが、ドライバーの意識啓発についてももしっかり取り組んでいきたい。</p> <p>情報がわかりやすく掲載されていない部分について、見せ方を検討し、積極的に情報発信に努めたい。</p> <p>交通安全に関して、保護者の意識を変えていく必要があると思っており、担当課と協議をしながら進めていきたい。</p> <p>自転車活用推進計画に掲げている大会は、交通安全というよりは、ファンライドやプロスポーツ選手が順位を競うような大会を想定しているもの。</p>
委員	<p>この交通安全子供自転車島根県大会はいわゆる全国大会がある、交通安全自転車大会だと思うので、それが根拠に記載されていても内容としては、警察署が開催する教室開催時にリーフレットの配布をする（目標6校）ということで理解しました。</p>
委員	<p>自転車を快適に利用することができるまちの形成について、夜、気候（雨）、季節での快適な活用の仕方を考える視点があると、指標や進捗管理の中で上げる項目があるのではと思う。</p>
委員長	<p>情報発信について、今年度だけに限らず、これまでも情報発信については意見を出してきた。重く考える必要はないので、こまめに発信していただければと思う。また、委員会の記録なども掲載していただければ、委員もこれまでの流れ等を確認できると思うのでお願いしたい。</p>

以上、閉会。